

やまが Yamaga City council News

市議会だより

第45号
12月定例会

令和7年2月1日
発行／山鹿市議会



おかげさまを持ちまして第5期(令和3年3月～令和6年12月)山鹿市議会最後の議会「12月定例会」を終えました。

《もくじ》

| | |
|------------|------|
| 議会報告会 | 2～3 |
| 常任委員会レポート | 4～6 |
| 質疑・一般質問 | 7～12 |
| 審議結果 | 13 |
| 議会の動き・編集後記 | 14 |

議会報告会

建設経済

北海道石狩市「道の駅石狩【あいろーど厚田】」
北海道小樽市「観光振興への取組み」

市民福祉

青森県むつ市「健幸アップ事業」
青森県三沢市「ユニバーサルタウン推進事業」

総務文教

愛知県安城市「新給食センター建設」
愛知県江南市「中学校部活動の地域移行」



スクリーンを使っでの委員会報告

議会だより第44号(令和6年11月1日発行)にも掲載していますが、主に3委員会で行った行政視察内容についてご報告し、質疑応答を行いました。

Q&A

Q 議員間討議 3項目を聞かせてほしい

A 次の3項目について討議をしている

- ①投票率の向上
- ②バリアフリー化・ユニバーサルデザイン
- ③台湾との交流

Q 「行財政運営はこのままで大丈夫か」 経常収支比率を窓口で聞いたが、はぐらかされた。今後は大丈夫か。任せておいてよいものか

A 財政は安定している。98%で推移していて下げる努力はしている。財政調整基金も若干あるので災害の時にも出せる。借金もあるが返しながら、貯金も必要である

Q 視察研修は重要と思う。目と耳で見てくる先と山鹿のレベルはあっているのか。どう活かしていくのか。いつまでに実行するのか。市の回答が成果となる答弁が一度もないので、議会もいつまでにできるか答弁を引き出してほしい

A 質問の仕方で「いつまでにできるか」がわかるよう活かしていきたい。

- ◆ 初参加。もう少し明るい雰囲気でも迎えてもらえると良い。次回も参加しようと思う(40代)
- ◆ 初参加。市民がもっと議会に関心を持ち山鹿がもっと良くなってほしい(50代)
- ◆ スクリーン活用での報告、もっと写真データがあると良かった(50代)
- ◆ 質疑応答時間が短い。もっと市民の声を聴いてほしい(50代)
- ◆ 開催時期と商店街・農業者の多忙さに配慮を山鹿市の立ち位置を考えて議会運営をしてほしい。

アンケートより

委員会もネット配信してほしい。視察の成果を知りたい。報告の部活ボランティアをどう活かすのか。

議会がシナリオありの発表会の場になっている。議員定数の考え方は?(70代)

◆ 研修報告と目標を出してほしい(70代)

◆ 思った以上に質問に答えてもらった。報告会の回数を多くしてほしい(30代)

開催場所・時間・内容について

良い

どちらともいえない

令和6年度

2024.10.11
本庁 501 会議室

報告内容

- 1.議長あいさつ
- 2.出席議員紹介
- 3.議会活動報告
- 4.各委員会報告
- 5.質疑応答



議長あいさつ

質疑応答



参加者からの質疑

Q 毎回参加しているが、参加者が少ない期待していないのではないかと多くの方が参加できる取り組みをしてほしい研修してきたことがどう市民に還元されるのかを聞きたい

A 参加者を増やすためにどういった方法が良いのか工夫をしていく研修したことをどう活かしていくのか。以前の研修の成果なども伝えたい

Q 議員ともっとコンタクトを取れる場をつかってほしい。市民と話し合える場をつかってほしい

広報費とか大いに使って、アピールしてほしい。金額には注釈をつけるなどわかりやすく

A ご意見ありがとうございます

予算決算委員会報告

建設経済分科会

農林振興施設管理費2億3千5万円

問 菊鹿有機液肥供給施設解体に当たり、当初予算計上時に、液肥等の有無は確認されたのか。また、人事異動時に引継ぎはあったのか

答 前任者からの引継ぎ不足、確認不足が招いた結果であり、大変申し訳なかった。

問 鹿北有機液肥製造施設解体に当たり、運用開始後に増設された施設を把握出来なかったということは、ありえないのではないのか

答 増設前の当初竣工図を基に解体設計を行ったため、増設された部分が把握出来ていなかった。合併という制度的、人的要因があったとはいえ、今後、このようなことがないよう、書類や現地確認の徹底を行うとともにチェック体制の強化に努める。

市民福祉分科会

本庁舎・各市民センター管理費

問 本庁及び市民センター管理費とは？

答 本庁については市民ホールの音響設備などの施設変更。各市民センターについては空調設備の修理や交換及び照明器具のLED化、駐車場整備など。

旧保健所跡地について

問 解体後の跡地利用は？

答 当分の間駐車場として利用し今後の活用法を模索していく

総務文教分科会

合併特例債の最終年度

問 合併特例債が活用できる最終年度ということで本庁舎等の整備を集中的に行うことは賛成であるが、一方で今後、工業団地建設等の大型の資金需要に対し、どう対処するのか

答 基金や地方債を活用することになると考えている。今後数年は地方債残高が高止まりする見込みであることから、将来世代に負担を先送りすることのないように慎重な財政運営に努める。

問 各施設のLED化工事等を集中的に整備する計画であるが、将来、同時期に交換時期を迎えることについての見解は

答 耐用年数や壊れてから対応するのではなく予防的な視点も踏まえ、社会資本整備計画に基づく施設の維持管理計画が必要だと考えている。

【予算決算委員会からの意見・要望】

本庁駐車場の改修設計がなされるに当たり、次の点について十分な配慮をいただきたい。

- ① バリアフリー化及び障がい者スペースの利便性向上
- ② 避難所となっている市民交流センター入口から避難場所へ入室するまでの間に雨に濡れない工夫

12/9
開催

建設経済委員会レポート

◎小川 榮一 ○隈部 賢治 北原 昭三
松見 真一 豊田新二郎 関口 和良

奥永簡易水道事業の譲り受け

問 奥永水道事業を含む今後の水道事業の維持管理は

答 本年度より料金改定を行っており、年間7000万円から8000万円程度の料金収入増が見込まれているので、適正に維持管理が行われるものと考えている。

問 水中ポンプの耐用年数・金額は

答 水中ポンプの耐用年数は15年とされているが、20年、30年と使用できるものもあり、15年で即交換という事ではない。また交換にあたっては、細やかな維持管理のもとでの判断が必要である。金額については、数百万円から数千万円と幅広く、施設規模等に依りてその都度、見積での確認が必要である。

【その他 主な審査事項】

- 菊鹿町自然環境保護条例
- 菊鹿町特定ホテルの建築規制に関する条例

現地調査



菊鹿有機液肥供給施設



12/10
開催

市民福祉委員会レポート

◎勢田 昭一 ○金光 一誠 芋生よしや
山下 誠治 深牧 大助 永田 壮拓

問 市民医療センターにおける誤徴収した選定療養費（初診）の返還方法は？

答 対象者に市民医療センターから返還案内の通知を発送し、返還する。情報システムのデータ保存年限が10年であり、平成23年6月から26年8月までの徴収データはない。データのない方には、領収証等の確認ができる場合に返還するほか、問い合わせがあった場合等はカルテの確認を行う。また、広報紙・ホームページなどで周知を図る。

【その他 主な審査事項】

- 公の施設の指定管理者の選定について
- 山鹿市鹿本ふれあいセンター
- 山鹿市山鹿老人福祉センター等
- 山鹿市菊鹿健康福祉センター「ひまわり館」



市民医療センター入口に
貼り紙されています

12/11
開催

総務文教委員会レポート

◎富丸洋一郎 ○原 芳郎 永田 紘二
有働 辰喜 古川 和博 高橋 龍一

● 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

● 山鹿市長職務執行者の給与及び旅費に関する条例を廃止する条例

● 熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について

● 財産の取得について（中学校教師用教科書等）



ころう君と学ぶ! 「議会用語の基礎知識」

「選挙」って何だコロ～?

チヨマツ：今日は山鹿市の市長と議員を選ぶ選挙に行くよ！

ころう君：選挙って、何だコロ～？

チヨマツ：ぼくたちが住んでいる山鹿市を快適で住みよいまちにするために選挙で市民の代表を選び、ぼくたち市民に代わって大切な仕事をしてもらうんだよ。その代表が、市長と市議会議員なんだ。

ころう君：市民みんなで話し合えばいいコロ～？

チヨマツ：市民全員が集まることは難しいんだ。だから、自分たちの代わりに、その意見を市政に反映してくれる代表を選ぶんだよ。それが「選挙」なんだ。

ころう君：ぼくも選挙に行くコロ～♪

チヨマツ：（ころう君は18歳になっているのかな？）



一般質問

議会だよりでは、紙面の都合上、1人1問の質問と答弁を要約して掲載しています。

熱気あふれる発言の数々は、本会議場でお聞きください。傍聴をお待ちしています。

市政のここが聞きたい!!

一般質問とは議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。
12月定例会の一般質問は12月3日、4日の2日間にわたり行いました。



※QRコードからYou Tubeでの録画配信をご覧ください。

| 質問議員 | 質問趣旨 | 掲載 | 質問議員 | 質問趣旨 | 掲載 |
|-------|---------------------|-----|--------|--------------------------|-----|
| 芋生よしや | 健幸都市宣言推進に老人クラブ活性支援を | P7 | 山下 誠治 | 带状疱疹予防接種の助成は | P10 |
| 豊田新二郎 | 災害時の防災備蓄品について | P8 | 永田 壮 拓 | 保護者願う!障がい児童の学童クラブ利用年齢延長を | P11 |
| 勢田 昭一 | 「あいさつ運動」の歴史と成果は | P8 | 北原 昭三 | 公共施設への予約システムの導入は | P11 |
| 富丸洋一郎 | 山鹿歴史公園として整備を | P9 | 関口 和良 | 山鹿の地域資源をどのように活用するのか | P12 |
| 原 芳 郎 | 農業振興施設で補正に至った要因は | P9 | 永田 紘二 | 幹線道路の整備の進捗状況と市の関わりは | P12 |
| 金光 一誠 | 人口減少対策はどうなっているの | P10 | | | |



問 健幸都市宣言推進に老人クラブ活性支援を

答 役割に期待 力なくしてはできない

いもう
芋生 よしや 議員
(日本共産党)



山鹿市老人クラブ連合会
健幸づくり芸能大会

問 山鹿市老人クラブ連合会基本方針には、一番に健康づくり・介護予防活動の推進が挙げられている。厚労省も地域の担い手として行政の補完的役割も果たしていること示している。健幸都市宣言に合致した取り組みをしているが、会員数が減り続けている。活性化させることが、宣言を推進させていくことである。老人クラブの維持に最も影響を及ぼすのは役員のなり手不足で、役員の確保と活性化のための補助金増額を求めたい。「もっと、しっかりと支援してほしい」という願いに込めたい。

答 市長
老人クラブ連合会は地域を基盤として多岐にわたり活動を展開する高齢者の自主組織として、また社会参加の機会として大変重要な組織団体であり、減少は気になっている。市民の心と身体の健康を維持するには、役割に期待しているものがあり、その力なくしてはできない。会の在り方や運営について望ましい支援策を協議していく。

その他の質問

- ・財政調整基金
(物価高に苦しむ市民支援に活用を)
- ・健幸都市宣言の取組みとして健康づくりの輪を広げる
(公共トイレの改善、福祉灯油の支援、障害児学童支援)

問 災害時の防災備蓄品について

答 既存施設の有効活用を基本に、備蓄倉庫の在り方について議論を進める必要がある。



とよだ しんじろう
豊田 新二郎 議員
(鹿政不動産)



問 災害時に市民の生命と安全を守るための備蓄体制について伺う。
① 防災備蓄品の管理・更新体制は
② 防災備蓄品の保管場所や災害時の配布体制は
③ 今後の管理に対する課題と計画は

答 総務部長

① 防災備蓄品は、備蓄計画に基づき飲料水7,500ℓや食料13,490食など、国の推奨する3日分を目標に整備している。消費期限のある物品はローリングストック方式で更新し、防災訓練や福祉イベントで活用することで防災意識の啓発と食品ロス削減に努めている。
② 防災備蓄品は、本庁地下倉庫や各市民センター、総合体育館に保管され、連携・輸送班が不足時に避難所へ配送する。交通アクセス確保は関係機関と連携して応急復旧を進める。また、避難者増加や多様化するニーズに

対応するため、簡易間仕切りや簡易ベッド、アレルギー対応食品の拡充を検討している。
③ 防災備蓄品は備蓄計画に基づき調達時期を調整しながら備蓄品の整備を進めているが、現在の備蓄倉庫だけでは、今後数量を拡充予定の簡易間仕切りや簡易ベッド、3日分の備蓄品を保管するにはスペース不足が懸念される。今後は既存施設の有効活用を基本に、備蓄倉庫の在り方について議論を進める必要がある。



その他の質問

- ・本市の救急搬送状況と救急医療体制について

問 「あいさつ運動」の歴史と成果は

答 合併時から始まり20年、学校と地域の連携深まる。



せいだ しょういち
勢田 昭一 議員



問 映画「骨なし灯籠」を鑑賞された方の感想は、「山鹿の子どもたちが知らない人に、あいさつをする」シーンがとてもほのぼのとして、心が温かくなった。
また、私自身、歩いていると自転車に乗った高校生が元気よく「おはようございます」とあいさつをしてくれ。その高校生は、年々増加している。
そこで、この「あいさつ運動」の歴史と成果を伺う。

答 教育部長

歴史は、合併を機に、市内の全小中学校で取り組むようになった。現在では、毎月1日・15日にPTAと地域の

方々を巻き込みながら、通学路での児童生徒への声かけを実施。
登校時の校門では、市長、教育長の巡回、各種キャラクターも参加し毎回工夫しながら実施している。
成果は、いつでも、どこでも自然に元気な「あいさつ」ができるようになり、人と人のつながりを深め、学校と地域の連携や活発なコミュニケーションに貢献している。



その他の質問

- ・里山「番所棚田」の保存・継承について
<まもる視点で>
- ・ふるさと納税額の増加について
<創り出す視点で>



問 山鹿歴史公園として整備を

答 顕彰会と調整、課題を検討

とみまる よういちろう
富丸 洋一郎 議員



かやぶき屋根の古民家



問 サイクリングターミナル跡地の解体工事が進んでいるが、跡地利用について何かしら計画があるのか。また、周辺には江戸時代に建てられたかやぶき屋根の古民家や西南戦争山鹿口の戦いを顕彰するための石碑や看板もある。老朽化が懸念されるこれらの施設を今後どのように維持管理していくのか。

答 教育部長
跡地の活用については、博物館の整備方針の中で検討しており、まだ具体案を示せる段階ではない。なお周辺は、都市計画法に基づき「山鹿歴史公園」として決定されており、歴史公園機能を維持した活用となるが、記念碑など設置者の顕彰会との調整も念頭に整備方針の中で検討していく。



問 農業振興施設で補正に至った要因は

答 条例廃止後液肥の処分できず

はら よしろう
原 芳郎 議員
(れいわ創造)



令和3年3月31日をもって、施設の利用停止と関係条例の廃止となった施設

その他の質問

- ・議案第74号令和6年度一般会計補正予算(第5号)(款)5農林水産業費【質疑】
- ・ふるさと納税
- ・農業施策

問 ①農業振興施設(有機液肥製造施設)3施設のそれぞれの現状
②菊鹿有機液肥供給施設の汚泥処理費になぜ、1億5,023万1,000円もかかるのか?なぜ、解体発注前に液肥を処分しなかったのか?
③菊鹿有機液肥供給施設の今後のスケジュールは

答 農林部長

①令和3年3月31日をもって、それぞれの施設(3施設)の条例を廃止した。

②処理施設での汚泥

処理費用として6,281万円、汚泥の収集運搬費用として8,742万円、液状汚泥600m³、泥状汚泥が950m³、合計1,550m³。液状の処分については、令和3年度まで可能な限り散布した。今回の補正に至った主な要因としては、その後の引継ぎ及び確認不足等であり、大変申し訳ない。

③アスベスト除去や、汚泥の処分に影響がない建屋の解体準備。令和7年度内での早期の事業完了を目指す。

問 人口減少対策はどうなっているの

答 「選ばれる山鹿」となるよう移住支援に取り組む



かなみつ いっせい
金光 一誠 議員
(れいわ創造)



問 全国的に人口減少が進み、東京への一極集中という現実が否めない中、本市においても「選ばれる山鹿」の実現に向け戦略的な取組を行っており、その対策について問う。

①人口動態
②移住相談件数と移住者数
③移住支援金の要件
④移住者の増加に向けた取組

答 市民部長
本市では、対象者を拡充するため、財政支援が受けられる範囲内で、関係人口の要件を追加する独自の取組を行っている。今後も移住者ニーズや国や県、先進自治体の取り組みを参考に、多くの方に「選ばれる山鹿」となるよう移住定住の支援に取り組んでいく。

その他の質問

- ・(質疑) 議案第74号令和6年山鹿市一般会計補正予算(第5号)財産管理費、市民センター費
- ・企業誘致の考え方
- ・福社会館 ・地域づくり事業
- ・未来創造基金

問 带状疱疹予防接種の助成は

答 任意接種であり助成は行っていない

やました せいじ
山下 誠治 議員
(れいわ創造)

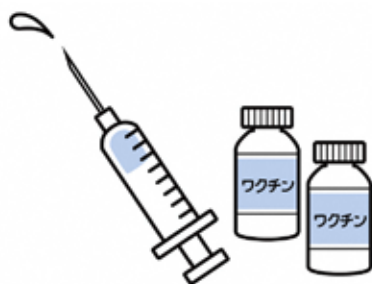


問 ①带状疱疹に対する予防接種を受けられる市民の方も多くなってきた。料金が高額と聞かす助成について尋ねる。

②予防を促進して発症を抑える意味で、市独自の助成の取組はできないかを問う。

答 福祉部長
①予防接種には定期接種と任意接種があり定期接種は社会的なまん延を防ぎ、安全で予防効果が高いエビデンス、つまり科学的根拠が得られ国が法で定め、努力義務が課せられていることから助成をしている。一方、任意接種は、薬事承認は得られているものの法整備まで至っていないものになり带状疱疹ワクチンについては現在のところ助成は行っていない。

②带状疱疹ワクチンは、予防接種法に定められていない任意の予防接種で個人自らの意志と責任で行うことになる。現在、厚生労働省の予防接種基本方針部会において、定期接種化に向けて審議中。審議の結果を待ち助成につなげていきたいと考えている。



その他の質問

- ・読書活動推進について



問 保護者願う！障がい児童の学童クラブ利用年齢延長を

答 課題多くも中学生預かりの必要性検討へ

ながた たけひろ
永田 壮拓 議員
(鹿政不動産)



問 障がい児童の放課後児童クラブの中学生までの利用年齢延長は、保護者の願いである。小学6年生までの利用は、中学生になると留守番が可能となることが前提の設定だが、障がい児童の現実は違う。また、それに伴う保護者の就労環境の調整（辞職、転職、勤務時間短縮など）も課題。独自の施策で中学生までの利用を可能としている自治体もあり、ぜひ、山鹿市が国を動かすほどの先進的な取組をしていただきたい。保護者と子どもたちの切実な思いに対し、利用年齢延長の必要性と実施に向けての考え方を伺う。

答 福祉部長
国は小学6年生までの預かりを想定しており、交付金の対象外になるため、市の一般財源と、保護者負担等により運営することが予想される。実施に向けては課題も多く、関係機関との協議が必要になる。しかし、利用年齢延長を望む声もあるため、保護者のニーズを把握するとともに、放課後等デイサービスとの併用も考慮し、その必要性について検討していく。

その他の質問

- ・山鹿灯籠踊り手の確保について
- ・ハラスメント防止対策について



問 公共施設への予約システムの導入は

答 令和7年度中にシステム運用をめざす

きはら しょうぞう
北原 昭三 議員
(公明党)



過去の議会でも質問
令和5年9月

問 例として、宇土市では公共施設の予約における更なる市民サービス向上及び新型コロナウイルス感染症予防対策として受付窓口の混雑を緩和するため、インターネット上で施設予約が可能なる公共施設予約システムを導入している。今の時代予約システムを導入していない自治体は少ない状況では、具体的にいつ頃導入を予定されるのか。

答 早田市長
公共施設の予約システムの導入時期については、利用者の利便性の向上を早期に図るため、令和7年度中に導入に必要な諸条件の整理等を行い、早期のシステム運用をめざす。



公共施設の予約システム

その他の質問

- ・無縁遺体の指針整備について
- ・GIGA スクール端末の更新について

問 山鹿の地域資源のどのように活用するのか

答 「収益化の視点」を念頭に強力に展開していく



せきぐち かずよし
関口 和良 議員
(れいわ創造)



市指定名勝 不動岩

問 山鹿市には自然、農産物、観光、歴史・文化等のよそから、うらやましがられる地域資源がふんだんにあるが、どのように活用するのか問う。

答 総務部長

本市は地域資源の宝庫であるが、これらを活用するには、その現状把握と価値、ニーズ、活用可能性等を評価して、施策に反映させる必要がある。そして、地域資源の活用にあたっては、その資源を適切に管

理運営することのできる、「地域の人的資源」が欠かせない。これには住民意識の醸成、関係者間の協力体制等、人材やスキルの育成向上といった多種多様な課題を解決し、「収益化の視点」を念頭に、より強力に展開していく必要がある。また、市の組織体制については、本市を取り巻く社会状況の変化、多様化する市民の行政ニーズに柔軟かつ的確に対応するとともに、機能的・機動的・効果的な組織体制を基本として、不断の見直しが必要である。より効果的かつ効果的な組織体制の構築を旨とし、今後必要な改編をすすめていく。

問 幹線道路の整備の進捗状況と市の関わりは

答 国道3号線、国道325号線ほかの幹線道路の整備に市も積極的に関わっている



ながた こうじ
永田 紘二 議員



問 ①鹿央地域の振興のためには、スマートインターチェンジの設置は必要不可欠と考えるが、断念した際の検討経緯は。

②平成30年度に具体的な候補地や交通量など、調査分析がされているが、市としての現在の考えは。

③本市の人口減少を歯止めするためには、熊本市へのアクセス道路の整備が必要と考えるが、国道、県道の整備状況と事業を前進させるための市の関わりは。

答 建設部長

①平成29年度に県や九州地方整備局と実現可能性に関する協議を行い、平成30年度に実現性について検証を行った。候補地の位置や高速道路本線の縦断勾配、整備効果や課題などがまとめられ、同年度に県と九州地方整備局が現地調査を行った結果、本線の縦断勾配が基準をクリアせず、国との計画協議で却下の可能性が非常に

高いという判断がなされ、市としても設置を断念した。

②スマートインターチェンジの設置基準は、高速道路上における事故発生の可能性など、安全性に配慮して設けられたものであり、この基準に合致しないという判断がでているため、現行においても設置はできない。

③国道3号植木バイパスについては、本市の経済団体が構成する「国道3号植木バイパス(1工区)早期実現期成会」が立ち上げられており、国への要望活動のため、市として、情報収集や仲介などの協力支援を行っている。また、国道325号の道路改良事業については、県の会議や地元説明会に出席し、県と一体となって取り組んでいる。その他、主要地方道山鹿植木線や一般県道植木山鹿線についても、毎年、県へ早期完成に向けた要望を行っている。

令和6年(第5回)12月定例議会における審議結果表

全会一致で原案可決等された議案

| | | | | |
|-----|----|---|-----|---|
| 専補予 | 決算 | 一般会計補正予算(発掘調査費) | その他 | 公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市鹿本ふれあいセンター) |
| | 決算 | 一般会計補正予算(衆院総選挙) | | 公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市山鹿老人福祉センター等) |
| 条例 | | 山鹿市長職務執行者の給与及び旅費に関する条例を廃止する条例 | 人事 | 公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市菊鹿健康福祉センター「ひまわり館」) |
| | | 山鹿市税条例の一部を改正する条例 | | 人権擁護委員の推薦について |
| | | 山鹿市設置による合併前の山鹿市高齢者住宅整備資金貸付条例の失効に伴う経過措置を定める条例を廃止する条例 | | 令和6年度山鹿市一般会計補正予算(第5号) |
| | | 菊鹿町自然環境保護条例を廃止する条例 | | 令和6年度山鹿市病院事業会計補正予算(第1号) |
| | | 菊鹿町特定ホテルの建設規制に関する条例を廃止する条例 | | 令和6年度山鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) |
| | | 山鹿市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 | | 令和6年度山鹿市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) |
| | | 山鹿市民医療センター使用料及び手数料条例の一部を改正する条例 | | 令和6年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算(第2号) |
| | | 山鹿市一般職の職員の給与に関する条例及び山鹿市一般職の任期付き職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例 | | 令和6年度山鹿市水道事業会計補正予算(第1号) |
| その他 | | 財産の取得について(中学校教師用教科書等) | 補正 | 令和6年度山鹿市病院事業会計補正予算(第2号) |
| | | 熊本市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について | | 令和6年度山鹿市下水道事業会計補正予算(第1号) |
| | | | | 令和6年度山鹿市農業集落排水事業会計補正予算(第1号) |

賛否が分かれた議案

* 議長は採決に加わりません
○は賛成 ●は反対

| 議席番号 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | |
|------|---|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|---|
| 議員名 | | 関口良 | 永田壯 | 深田大 | 原芳郎 | 隈部賢治 | 高橋龍一 | 豊田新二 | 山下誠治 | 古川和博 | 金光一誠 | 松見真一 | 小川榮二 | 芋生よしや | 勢田昭一 | 有働辰喜 | 服部香代 | 富丸洋一郎 | 北原昭三 | 永田紘二 | |
| 件名 | | 和良 | 壯拓 | 大助 | 芳郎 | 賢治 | 龍一 | 新二 | 誠治 | 和博 | 一誠 | 真一 | 榮二 | よしや | 昭一 | 辰喜 | 香代 | 洋一郎 | 昭三 | 紘二 | |
| 条例 | 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ |
| | 山鹿市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例及び山鹿市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | 議長 | | ○ | ○ |
| 補正 | 令和6年度山鹿市一般会計補正予算(第6号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ |

芋生 よしや

刑法等の一部を改正する法律施行に伴う関係条例の整理に関する条例

現行の懲役刑と禁固刑を廃止し、新たに拘禁刑を創設する法律の施行に伴い、全ての受刑者に対し作業と指導を義務付けます。日本の刑事施設では、戦前も戦後も受刑者の人間性を否定した歴史があります。国連が被拘禁者処遇の最低基準を示した規則は、受刑者の基本的な権利と尊厳とともにすべての人々の安全と福祉も守ることを趣旨としています。SDGsの目標16「平和と公正をすべての人に」の達成を願うものとして、作業や指導を義務付け、懲罰を背景に強制することは受刑者の人間性を軽視することにつながりかねないこの条例改正に反対します。

人事院勧告を踏まえ、山鹿市議会の議員及び山鹿市長などの特別職の期末手当を0.05ヵ月引き上げる条例

物価高騰に苦しむ市民の切実な声が、寄せられていて、一般質問でも、物価高騰に苦しむ市民に支援を行うべきと求めた。今議会では人的ミスによる汚泥処理費用などを上乗せする補正予算が生まれ、市民医療センターでは確認ミスのため、徴収要件を満たしていない選定療養費徴収で、市民に負担を負わせ、すべての方に返還するめども立っていない。市民を思うならば、責任を取ることこそ必要であり、市民のみなさんの理解は得られない。人事院勧告は、市長や議員には適用されない。以上のことから私たち議員や市長等の特別職の期末手当引き上げには反対する。

令和6年度山鹿市一般会計補正予算(第6号)

議員や市長等の特別職の期末手当0.05ヵ月分が計上されている補正予算に反対する。

反対討論

議会の主な動き

10月

- 1日(火) 議会運営委員会行政視察(～2日)
- 7日(月) 熊本県市議会議長会(～8日)
- 8日(火) 行政視察受け入れ(静岡県御殿場市議会)
- 9日(水) 全国議長会研究フォーラムin盛岡(～10日)
- 11日(金) 議会報告会
- 17日(木) 国道3号植木バイパス早期実現期成会(～18日)
- 21日(月) 全員協議会
- 25日(金) 行政視察受け入れ(大分県佐伯市議会)
- 28日(月) 行政視察受け入れ(長崎県大村市議会)
- 29日(火) 国道443号期成会総会

11月

- 12日(火) 行政視察受け入れ(長野県千曲市議会)
- 14日(木) 行政視察受け入れ(北海道岩見沢市議会)
- 18日(月) 議会運営委員会
- 21日(木) 九州事務局長会(～22日)
- 建設運輸委員会(～22日)
- 25日(月) 12月定例会開会・全員協議会
- 広報広聴委員会
- 29日(金) 百歳到達者表敬訪問

12月

- 3日(火) 質疑・一般質問
- 4日(水) 質疑・一般質問
- 5日(木) 予算決算委員会
- 広報広聴委員会
- 9日(月) 建設経済委員会
- 10日(火) 市民福祉委員会
- 11日(水) 総務文教委員会
- 13日(金) 予算決算委員会
- 広報広聴委員会
- 議会運営委員会
- 17日(火) 12月定例会閉会・全員協議会
- 18日(水) 広報広聴委員会
- 27日(金) 仕事納め式
- 28日(土) 年末警戒

広報広聴委員

芋生 よしや 古川 和博
高橋 龍一 山下 誠治
松見 真一 関口 和良

広報広聴委員会

高橋 龍一

結びに山鹿市の益々の発展と市民の皆さまのご多幸を心から祈念しまして第五期最後の編集後記といたします。ありがとうございました。

傍聴者の感想

70代 男性

議会を傍聴して感じたことは、議会活動をされるでの質問や追跡しての質問などもあったが、三役に対しての政策的な質問が少ないように感じた。また、傍聴する人が少なく残念に思った

70代 男性

山鹿灯籠まつりの踊り手の確保や、ハラスメント防止対策などよく調査、勉強して質問していた。議会において、執行部と議員との間でこのようなやり取りが行われていることを、もっと多くの市民に知ってもらいたいと思った。

50代 女性

国会での質問などはTVで見えていましたが、初めて市議会の傍聴に出席しました。

議員さんと執行部のやりとりをお聞きし、お互いしっかり勉強されていると感じました。勉強の為、今後も機会があれば出席したいと思います。

70代 男性

傍聴席から見ると、どちらの席も女性が少ない。もっと女性の力を信頼し、行政に生かしてほしい。議員は持ち時間を駆使して、市民の声を議会に届けてほしい。「お尋ね」でなく、後ろにいる市民を信じて「提案する」姿勢を求めたい。

80代 男性(老人クラブ連合会役員)

老人クラブの最大の目的は「会員の健康づくり」市長が「健幸都市宣言は老人クラブと共に取り組まねば成功しない」旨の答弁があり元気が出た。会員減少で存続危機を迎えている。宣言の推進を行政とともに取り組む中で大きく成長し、市の発展に寄与したい。

80代 女性 初傍聴

質問のやり取りで、曖昧な言い方ではなく、はっきりした答弁は出ないのかと思った。

編集後記

令和7年がスタートして早くも一月が過ぎようとしています。厳しい寒さの中ですが、節分から立春へと季節は確実に春へ向かっています。昨年は元旦から大地震や航空機事故等の自然災害や事件事故が相次いだことを考えますと、今年度は穏やかな一年でありますように願うばかりです。